

学 園 報

No.27

富山国際学園 URL <http://www.tii.ac.jp/>富山国際大学 URL <http://www.tuins.ac.jp/>富山短期大学 URL <http://www.toyama-c.ac.jp/>

富山国際大学付属高等学校

URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <http://www.fsnet.or.jp/~midorino/>

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市願海寺水口444

TEL/076-436-5139

FAX/076-436-5444

新しい革袋に新しい酒を!

民主党政権(コップ)内の不毛な騒動の中、我が国家戦略は致命的欠落と停滞。沖縄、尖閣と続く敗北外交。世界不況とデフレ日本の中、経済政策の空白。我々国民の憂国の想いは今や痛切。しかし、思えばこのような混迷の時こそ、「国家百年の計・教育」を担う我々の使命の重さを自覚し、「面も振らず」進むのではないか!

(1) 富山国際学園では、まず富山短大は平成25年に50周年(高校は一年遅れ)、そして国際大は今年、20周年を迎えます。呉羽キャンパスでは、(a)すでに子ども育成学部が新校舎を開設し活動開始。(b)さらに今年度、国際大付属高校の改築・第Ⅰ期工事が順調に進行中。(c)加えて待望の富山短大・改築計画は、ようやく今年度、基本設計へ入ります。我が富山国際学園の皆さん。老いも若きも心機一転し、「希望の明日」に向け、「新しい革袋」に「新しい酒」を盛ろうではないか!

(2) 富山国際大学は、(a)中島恭一新学長の下、一連の20周年記念行事を主軸に、活動を始めました。プログラムは次のとおり:エクステンション・プログラム開設記念講演会(9/18);エクステンション・プログラム(9/30~3/19);子ども育成フォーラム(10/9);日本海学・森のファンタジー「公開シンポジウム」(10/30・31);企業・大学講演会(11/4);記念式典・国際交流シンポジウム(11/20);子ども育成学部公開セミナー(12/4)。(b)田中忠治前学長は「創立20周年にあたり」と題し、富山国際大学の歴史をまとめられました。貴重な学園の文献であり、理事長として感謝します。なお先生の退官記念講義のあと、ご功績をたたえ、名誉教授の称号を授与しました。(c)この10月、第三者評価を受けるべく準備中。中島学長のリーダーシップの下、自己評価報告書も6月にまとめられました。(d)ホットニュース:文科省の「大学生の就業力育成支援事業」に、大学の「入学から卒業までの体系的な就業力育成教育」が採択。好球必打!(e)北野現代社会学部長は9月に中国大連・遼寧師範大学を訪問し、教育・学術交流の成果をあげました。

(3) 富山短期大学では、食物栄養学科が栄養士養成の地道な努力を続け、学長は多年つとめた協会の常任理事をようやく

卒業。専攻科は全員が学士(栄養学)の学位を取得し、学会発表もすませ、本学教育のハイレベルを実証。9月には中国からの参加者10名を迎え、「日本臨床中医薬学会」を短大・国際大で共催しました。幼児教育学科は第39

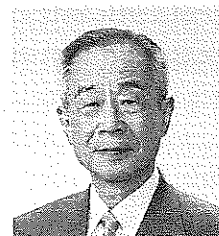
回研究会で、県内外から500名の参加。地域教育の拠点として活動中。さらに「平成23年度全国保育士養成セミナー・研究大会」を準備中で、本学教育力が全国レベルであることを証明しました。経営情報学科は、充実したキャリア支援(70人の1年生がインターンシップへ)により、「社会人基礎力」の向上を計っています。福祉学科は、介護実習指導者会議を開催し、今や我国の社会問題となった介護福祉士養成教育の向上に励んでいます。短大全体では学生の社会人活動の将来のためには、クラブ活動、ボランティア、課外活動でのコミュニケーション能力養成などを重要課題ととらえ、力を入れています。全国私立短大体育大会や全日本大学女子野球選手権大会でも活躍しました。

(4) 富山国際大学付属高校では、第Ⅰ期改築工事に共に、ファイトが盛り上がってきました。授業はもとより諸活動は活気に満ち、テニス、弓道、空手、放送、新聞と、例年に劣らず全国大会出場を決め、「文武両道」を旨とする本校の面目躍如。保護者・PTAの方々の応援にも感謝。Ⅱ期工事も、視野に入ってきました。

(5) 富山短期大学付属みどり野幼稚園は、保護者の要望により、平成22年度から「預かり保育」を実現。また未就園児の「親子クラブ」や、父親の会主催の「遊び大会」、「お泊まり保育」など、保護者と共に地域社会との共生につとめています。

(6) 社会福祉法人富山国際学園福祉会「にながわ保育園」は、地元との協力が毎年実を結びつつあり、夕涼み会にも600名が参加されました。

(7) 理事長は、学園、会社、全国・地元社会。この3者を合せた自らの仕事の足元を確保しつつ、及ばずながらつとめています。学園の皆様は、ご遠慮なくご意見をお寄せください。



理事長
金岡 祐一

CONTENTS

□新しい革袋に新しい酒を!

理事長 金岡 祐一 1

□特集1 富山国際大学 新学長に聞く

学長 中島 恭一 2~3

□特集2 富山国際大学 創立20周年を迎えて 4

□平成22年度部門別学生・生徒・園児数等 5

□平成21年度卒業生進路状況 5

□平成21年度決算及び財務の状況 6~7

□学園NEWS 8

■富山国際大学 新学長に聞く

田中忠治前学長の任期満了に伴い、平成22年7月1日(木)付けで中島恭一前富山国際学園学事顧問・富山国際大学前副学長が新学長に就任されました。この特集では、中島恭一新学長に、学長就任の抱負や今後の大学運営の展望などをお伺いしました。



中島 恭一 学長

Q1 創立20年目の節目となる年に学長に就任されましたが、今のご感想をお聞かせください。

A1 創立20周年の記念すべき年に学長に就任したことは身の引き締まる思いです。

富山県の出身者として、富山国際大学が地域の知の拠点、人材育成の拠点として発展することに少しでもお役に立てればとの思いから引き受けましたが、現在の地方私立大学の置かれた厳しい状況を考えると、今後の運営は大変だなというのが率直な気持ちです。

これまでの経験を活かして、富山国際大学の基本理念の中核となっている「共存・共生の精神」の下に、国際的視野に立脚しつつ、地域社会の発展に貢献できる人材の育成や教育研究を推進して、地方の私立大学にふさわしい活動に全力を挙げたいと思っています。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

Q2 地域社会に於ける本学の果たすべき役割は益々重要になってくると思われます。今後、本学が地域社会に対して担うべき役割について、学長のお考えをお聞かせください。

A2 「地方の時代」や「地方分権」が叫ばれて久しくなりますが、なかなか進んでいないのが現状です。やはり、政府や中央に依存するのではなく、地域の内的エネルギーにより地域内発型の発展を促進する必要があります。そのためには、地域の知の拠点、人材育成の拠点としての地域の大学の役割が重要になります。

富山国際大学の学生の多くが、卒業後は富山県を中心とした地域で活動します。地域で活躍できる人材を

多く輩出し、地域に貢献することが本学の重要な役割です。そのために、この地域で学べる利点を活かして、地域全体をキャンパスと考えて、地域の中に入り、地域の中で学びながら、地域活動力を磨くことを重視してゆきたいと思っています。

教員の教育研究の成果をはじめ本学の持つ知的資産を、地域社会の活性化に役立てることも重要な役割です。地域の企業・団体等との連携を強めながら、本学の知的資産を活かして、地域に貢献できるように尽力したいと思います。

Q3 本学では、現在、経営改善計画を履行中ですが、今後、本学の生き残りをかけて取り組んでいかなければならない課題は何だとお考えですか。

A2 日本は少子化に伴う人口減少時代を迎え、私立大学の4割前後が定員割れとなっており、特に地方の私立大学の経営は極めて厳しい状況となっています。このような状況の中富山国際大学は、昨年、学生定員の確保、人件費の削減、外部資金の導入を柱とした経営改善5カ年計画を策定し、現在その着実な実現を目指して努力しているところです。

この課題を達成するには、何よりも大学の教育力を向上して、充実した教育や教育環境を提供し、卒業時には学生に確かな成長を保証し、学生自身も成長を実感できるようにして、社会、とりわけ地域社会から富山国際大学の教育への高い評価と信頼を得るようにすることが重要です。

「大学全入」時代を迎え、大学は入口での質確保を競う時代から、出口での質保証を競う時代が変わっています。確かな質保証のできる教育システムを確立し、

定員の確保と共に、社会人や外国人等も呼び込める魅力のある教育を展開して、生き残りを図りたいと考えます。

また、大学の持つ知的資産を地域社会に還元する活動を様々な形で展開して、地域で存在感のある大学となることも重要な課題です。

富山国際大学は、47年の歴史と伝統を持つ富山県内随一の私立総合学園である学校法人富山国際学園が経営する大学です。富山短期大学、富山国際大学付属高等学校、富山短期大学付属みどり野幼稚園と合わせた4つの教育機関が強い連携のもとに一体的運営を実現して、富山国際学園全体の総合力を強化することが生き残りへの強力な支えになります。

Q4 本学は、2学部2キャンパスを擁する特色ある大学として再スタートし、今年で2年目となります。

今後、本学が地元私立大学の核となっていくためには、何をしなければならないとお考えですか。

A4 まず、本学の基本理念である「共存・共生の精神と知性を磨く教育を基本に、時代の潮流に対応できる、健全にして個性豊かな人材を育成して、国際社会および地域社会の発展に寄与する」を教育の中に貫き、私立大学にふさわしい特色を打ち出すことが必要です。

そして、(1) 学生が主役の大学を実現し、学生を成長させる力ではどこにも負けないようにすること、(2) 地域と共に歩み、地域に学び、地域に役立つ大学にすること、(3) 国際大学の名にふさわしく、北東アジア地域の国際交流拠点として、今後の経済交流や人的交流を担える人材育成と国際的大学間連携を促進すること、の3点が特に重要であると考えています。

現代社会学部のある東黒牧キャンパスは、立山連峰を目前にする自然と一体となって、「共存・共生の精神」を体現する21世紀型キャンパスです。子ども育成学部のある呉羽キャンパスは、富山国際学園が経営する4つの教育機関が併存し、47年の歴史と伝統を刻んだキャンパスです。2つのキャンパスの特色を活かして、人的・物的資源を大学全体、また学園全体で共有しながら、私立総合学園にふさわしい存在感を確立することが重

要でしょう。

Q5 最後に、富山国際大学創立20周年記念事業の計画について、教えてください。

A5 1990年に富山国際大学が創立してから今年で20年になりますが、様々な記念事業を実施します。

すでにスタートしましたが、本学の持つ知的資産や教員の教育研究成果を社会に還元する一環として「エクステンション・プログラム」を開講しています。本学の教授陣が現代社会を映し出す身近なテーマについて、系統的に深く掘り下げて講義し、少人数対話形式で学べる講座です。中期計画では、社会人も学べる「エクステンション・カレッジ」を設置し、魅力あるものになりたいと考えています。9月18日には、この「エクステンション・プログラム」の開講を記念して、北川正恭早稲田大学大学院教授を迎えて記念講演会を実施し、好評を得ました。

11月20日(土)には東黒牧キャンパスで、創立20周年記念式典と国際交流シンポジウムを開催します。中国・韓国・ロシアの提携大学の学長等を迎えて、北東アジアにおける国際交流のあり方について議論します。ぜひ、多くの方々の参加を期待しています。

更に、子ども育成フォーラム(10月9日)、日本海学・森のファンタジー公開シンポジウム(10月30～31日)、企業・大学講演会(11月4日)、子ども育成学部公開セミナー(12月4日)を開催するなど、多彩な記念事業を実施します。こうした事業を通して、創立20周年を迎えた富山国際大学の活動をアピールし、地域社会での本学の役割を理解していただきたいと思います。

中島学長のお考えを聞き、厳しい経営状況の中、発展した大学の将来を築くためには、教職員一同、全精力を傾けて努力しなければならないと実感しました。

中島学長、お忙しい中、ありがとうございます。

■創立20周年記念事業の計画についての詳細は、「特集2：富山国際大学 創立20周年を迎えて」(P4)をご参照ください。

富山国際大学 創立20周年を迎えて

富山国際大学は、平成22年で創立20周年を迎えました。

平成2年に、「小さな大学、大きな理想」をスローガンに設立され、「共存・共生の精神と知性を磨く教育」を教育目標として掲げ、健全にして個性豊かな人材を育成してきました。

国際的視野に立脚した人間形成を基本に時代の潮流に対応できる人材育成を通して、国際社会と地域社会の発展に貢献することを目指し、地域における知の拠点として本学の持つ知的資源を社会に還元することを重要な使命としています。

その一環として、創立20周年を記念し、以下の「記念事業」の開催と「エクステンション・プログラム」を開講することとなりました。この「エクステンション・プログラム」は、市民の皆様方の生涯学習に対する強い要請に応えるとともに、本学学生にも市民の皆様と共に学び、人間力を向上させる機会を提供すべく、新しい“学び”の場を創りだすことを目的としています。

◆富山国際大学 創立20周年記念事業

日 時	事業名	会 場	演 題	講 師
9月18日(土) 13:30～15:15	エクステンション・プログラム開設記念講演会	北日本新聞ホール	楽しく学んで人生を有意義に過ごそう	早稲田大学大学院教授 北川 正恭氏
10月9日(土) 14:00～16:00	子ども育成フォーラム	CICサテライト・オフィス	子どもの鼻の穴のふくらみに夢をかけて	前上越市教育委員会委員長 小林 毅夫氏
10月30日(土) 12:30～21:00	第4回日本海学・森のファンタジー「公開シンポジウム」	富山県立山博物館 インテック大山研修センター	立山の歴史と信仰の世界	立山博物館館長 米原 寛氏
10月31日(日) 9:20～17:20	里山の環境に求めた建学の思い！ ～富山国際大学の「創設理念の精神」と環境・造形～	東黒牧キャンパス 職藝学院	第Ⅰ部 東黒牧キャンパスの学舎は何故、散らばっているのか？ 学舎の棟持ち柱は建学神話の残照か？その謎を解く 第Ⅱ部 富山の木造建築文化と環日本海交流史	第Ⅰ部 三四五建築研究所代表 稲葉 寛氏 第Ⅱ部 職藝学院教授 上野 幸男氏
11月4日(木) 15:00～17:30	企業・大学講演会	名鉄トヤマホテル	グローバル化時代の地域活性化と人材育成	国際ジャーナリスト・ 明治大学 国際日本学部長 蟹瀬 誠一氏
11月20日(土) 13:20～17:00	創立20周年記念式典 第5回国際交流シンポジウム	東黒牧キャンパス	公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり(仮題) 北東アジアにおける国際交流のあり方	富山市長 森 雅志氏 大邱大学校総長 洪 徳津氏(韓国) 大連海洋大学外国語学院院長 郭 艶玲氏(中国) ウラジオストク国立経済サービス大学学長 ゲンナジ・ラザレフ氏(ロシア)
12月4日(土) 13:30～16:30	子ども育成学部公開セミナー	呉羽キャンパス E館	子ども育成とスクールソーシャルワーク	大阪府立大学 人間社会学部教授 山野 則子氏

◆エクステンション・プログラム

■教養講座

講座名	教 員	時期・回数	場所	講座名	教 員	時期・回数	場所
身近な人間関係を考える	樋口康彦	9/30～3回	CIC	家族をめぐる法律への誘い	吉田信一	11/6～3回	CIC
世界遺産、メキシコのテオティワカン遺跡を掘る	佐藤悦夫	10/1～3回	CIC	暮らしの経済 ～豊かな暮らしを考える～	大西一成	1/8～5回	CIC
男女が平等に生きるには	永井広克	10/3～5回	CIC	「子どもの権利条約」を読もう	彼谷 環	2/4～3回	CIC
選挙でみる戦後日本政治	大川公一	10/6～8回	CIC	地方自治の今とこれからを考える	後藤 智	2/19～3回	CIC
戦争と平和の時代を考える ～ファシズムと戦後民主主義～	藤野 豊	10/8～10回	CIC	富山の癒しの風景と旅の哲学	大藪敏宏	3/3～3回	CIC
心すこやかに生きるために	大谷孝行	10/9～5回	CIC				

■語学講座

講座名	教 員	時期・回数	場所	講座名	教 員	時期・回数	場所
米作家シャルダンの小説を読む	鈴木康雄	10/4～10回	CIC	自信を持とう英会話	福島美枝子	10/6～10回	CIC
実用中国語会話(初級から)	湯 麗敏	10/7～10回	東黒牧C				

)))))) 平成22年度部門別学生・生徒・園児数等 (((((((

平成22年5月1日現在(単位:人)

部 門	学部・学科名等	収容定員 (A)	1年	2年	3年	4年	合 計 (B)	定員充足率 (B/A)	備 考
大 学	現代社会学部	365	138	118	125		381	104.3%	
	子ども育成学部	160	77	63			140	87.5%	
	国際教養学部	130			1	41	42	32.3%	
	地域学部	120			2	75	77	64.1%	
	小 計	775	215	181	128	116	640	82.5%	
短 大	食物栄養学科	160	93	89			182	113.7%	
	幼児教育学科	160	93	79			172	107.5%	
	経営情報学科	200	120	120			240	120.0%	
	福祉学科	140	63	58			121	86.4%	
	専攻科食物栄養専攻	30	8	17			25	83.3%	
	小 計	690	377	363			740	107.2%	
高 校	全日制普通科	695	241	252	164		657	94.5%	
幼 稚 園		84	3歳児 24	4歳児 26	5歳児 27		77	91.6%	
	総 計	2,244	857	822	319	116	2,114	94.2%	

)))))) 平成21年度卒業生進路状況 (((((((

大 学

平成21年度卒業生(第17期生)の就職決定率は93.4%でした。業種別就職状況は卸・小売業が31.6%、サービス業が26.3%、製造業が14.0%と、上位3業種で71.9%となっており、富山県内企業に就職した卒業生は76.3%となっています。また、進学率は5.7%で、平成20年度に比べ減少しました。

平成22年5月31日現在(単位:人)

学 部	卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	決 定 率	進学者数
国 際 教 養	53	45	43	95.6%	3
地 域	88	77	71	92.2%	5
合 計	141	122	114	93.4%	8

短 大

平成21年度の進路状況は堅調といってよいでしょう。福祉、幼児教育、食物栄養学科の資格系3学科は相変わらず安定した求人に恵まれ好調でした。経営情報学科は前半極めて良く、後半は未曾有の景気悪化に見舞われましたが、ほぼ昨年度並みの好結果になったと考えます。

四大への編入学等では富山大や埼玉県立大、本学専攻科等々充実した結果になりました。

平成22年5月31日現在(単位:人)

学 科	卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	決 定 率	進学者数
食 物 栄 養	83	75	75	100.0%	3
幼 児 教 育	93	89	89	100.0%	2
経 営 情 報	92	85	81	95.3%	5
福 祉	54	50	50	100.0%	2
合 計	322	299	295	98.7%	12
専 攻 科 食 物 栄 養 専 攻	13	13	13	100.0%	—

高 校

今年は、202人の生徒が卒業しました。今年の特徴は、以下の3点です。

1. 進路先のレベルを一ランク下げる。 ➡ 浪人はしない、又は経済的にできない。
2. 県内希望者が増えた。 ➡ 自立しての生活を選べる、又は経済的に仕方がない。
3. 生徒の就職活動に対する真剣さが増した。 ➡ 就職状況が非常に厳しい。

生徒達の気質も世の中の変化に敏感に反応しているように思います。我々指導者も世間の動向を読み、指導内容を変えていく必要があると思っています。

平成22年5月31日現在(単位:人)

大 学	入学者	合格者	短期大学	入学者	合格者	そ の 他	入学者	合格者	卒業生
富山国際大学	14	25	富山短期大学	27	29	専修・各種学校	45	49	203
国 公 立 大 学	6	7	国公立短期大学	1	1	就 職		23	
他の私立大学	65	91	他の私立短期大学	13	17	そ の 他		9	
計	85	123	計	41	47	計	77	81	

平成21年度 決算及び財務の状況

平成21年度の事業報告及び決算は、去る5月27日開催の評議員会・理事会において承認されました。決算の概要は、消費収支計算書（1会計年度の消費収入と消費支出を明らかにして、その均衡状態を表すもの）において、消費収入の部で帰属収入合計が2,468百万円（対前年度比136百万円増・5.8%増）、消費支出の部で消費支出合計が2,884百万円（同351百万円増・13.6%増）、基本金組入額合計が538百万円（同65百万円減・10.8%減）で、消費支出超過額（いわゆる赤字）は954百万円となりました。この結果、平成20年度繰越消費支出超過額947百万円に、平成21年度消費支出超過額954百万円を加えた1,901百万円が平成22年度への繰越消費支出超過額（累積赤字）となりました。

収入の主なものは、学生生徒等納付金が大学、短大及び高校の在学者数の増により1,633百万円（対前年度比19百万円増・1.8%増）、補助金が大学学生支援GP補助金の増などにより525百万円（同27百万円増・5.4%増）、事業収入が高校スクールバス収入の増などにより51百万円（同31百万円増・155.0%増）となりました。

一方、支出の主なものは、人件費では、退職金の増や大学子ども育成学部の教員増などにより1,800百万円（対前年度比138百万円増・8.3%増）、教育研究経費が大学及び短大の子ども育成棟にかかる減価償却費の増や高校校舎改築工事に伴う旧校舎解体費用の増などにより857百万円（同134百万円増・18.5%増）、管理経費で子ども育成学部設置にかかる広告費の減などにより121百万円（同11百万円減・8.3%減）となりました。

昨年度に続き大幅な赤字決算となった大きな要因として

は、大学子ども育成学部設置や高校校舎改築に伴う諸経費の増があげられます。新学部設置や新校舎建設は、当年度の特事情であり、むしろ重視すべきは、経常収支の状況です。経常収入の要である学生生徒納付金をいかにして安定的に確保するか、特色教育に傾斜配分競争的補助金を、いかにして獲得するかが、本学園における質の高い教育を継続的に提供するために重要です。

一方、経常支出面では、固定費の性格を有し、その大部分を占める人件費についてみると、大学の改組再編計画の実施や短大以外の各学校ともに学生生徒の定員割れが続き、本学園の人件費比率（帰属収入に占める人件費の割合）や人件費依存率（学生生徒納付金に占める人件費の割合）は、依然として著しく高い状態が続いています。この状態を解消するためには、設置基準や学生生徒数に見合った人員配置に努めるなど、人件費の見直しが必要となっています。また、教育研究経費及び管理経費ともに収入に見合った予算の効率的執行や節約にも十分に配慮する必要があります。

このように、平成21年度消費収支決算を見ても、本学園の財務状況は一層厳しくなっていることがわかります。

資金収支計算書（1会計年度のすべての資金の収入と支出を明らかにし、資金の動きを表すもの）においては、平成21年度の収支状況を資金面の流れで見ると、収入額は平成22年度生の前受金や平成21年度末の未収入金等も含めて2,853百万円（対前年度比12百万円減・0.4%減）となり、前年度から繰り越した1,376百万円（同553百万円減・28.7%減）を加えると、収入合計は4,229百万円（同565百万円減・11.8%減）となりました。

消費収支計算書

平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで

(単位:百万円)

		21年度予算	21年度決算 ①	前年度決算 ②	差異 ①-②
消費収入の部	学生生徒等納付金	1,676	1,633	1,614	19
	手数料	33	34	33	1
	寄付金	2	8	8	0
	補助金	492	525	498	27
	資産運用	34	59	55	4
	資産売却差額	1	1	0	1
	事業収入	29	51	20	31
	雑収入	155	157	104	53
	帰属収入合計	2,422	2,468	2,332	136
	基本金組入額	△663	△538	△603	65
消費収入の部合計	1,759	1,930	1,729	201	
消費支出の部	人件費	1,909	1,800	1,662	138
	教育研究経費	974	857	723	134
	管理経費	143	121	132	△11
	借入金等利息	6	6	7	△1
	資産処分差額	100	100	9	91
	予備費	11			
	消費支出の部合計	3,143	2,884	2,533	351
	消費支出超過額	△1,384	△954	△804	△150
	前年度繰越消費支出超過額	△947	△947	△142	△805
翌年度繰越消費支出超過額	△2,331	△1,901	△946	△955	

資金収支計算書

平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで

(単位:百万円)

	21年度予算	21年度決算 ①	前年度決算 ②	差 異 ①-②	
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,676	1,633	1,614	19
	手数料収入	33	34	33	1
	寄付金収入	2	4	2	2
	補助金収入	492	525	498	27
	資産運用収入	34	59	55	4
	資産売却収入	1	1	0	1
	事業収入	29	51	20	31
	雑収入	155	153	100	53
	借入金等収入	4	4	2	2
	前受金収入	459	461	448	13
	その他の収入	574	527	569	△42
	資金収入調整勘定	△473	△599	△476	△123
	当年度収入合計	2,986	2,853	2,865	△12
	前年度繰越支払資金	1,376	1,376	1,929	△553
	収入の部合計	4,362	4,229	4,794	△565
支出の部	人件費支出	1,891	1,822	1,669	153
	教育研究経費支出	682	572	473	99
	管理経費支出	140	119	129	△10
	借入金等利息支出	6	6	7	△1
	借入金等返済支出	30	30	30	0
	施設関係支出	89	88	1,023	△935
	設備関係支出	63	53	198	△145
	資産運用支出	70	144	466	△322
	その他の支出	707	712	125	587
	予備費	16			
	資金支出調整勘定	△91	△226	△702	476
	当年度支出合計	3,613	3,320	3,418	△98
	次年度繰越支払資金	749	909	1,376	△467
	支出の部合計	4,362	4,229	4,794	△565

一方、支出額は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等利息支出、借入金等返済支出、施設設備関係支出などで3,320百万円（同98百万円減・2.9%減）となり、差し引き909百万円（同467百万円減・33.9%減）が翌年度への繰越支払資金となりました。

貸借対照表（年度末における資産、負債、正味財産〔基本金、消費収支差額など〕の状態を表すもの）において、学園の財務状態を見ると、平成21年度末現在の資産総額は12,552百万円で、その内訳は有形固定資産（土地、建物、備品など）6,766百万円、その他の固定資産（特定資産、引当資産など）4,707百万円、流動資産（現金預金、未収入金など）1,079百万円となりました。

一方、負債総額は1,564百万円で、その内訳は固定負債（長期借入金、退職給与引当金）808百万円、流動負債（短期借入金、未払金、前受金など）756百万円となりました。

また、基本金は12,888百万円で、その内訳は第1号基本金（設立当初に取得した固定資産並びにその後新たに取得した固定資産の自己資金による支払済額）が11,979百万円、第2号基本金（将来取得する固定資産の取得に充てる金銭等の資産額）が700百万円、第3号基本金（基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭等の資産額〔奨学基金など〕）が13百万円、第4号基本金（恒常的に保持すべき資金額〔資金的な消費支出の1ヶ月分に相当する運転資金〕）が196百万円となりました。

これにより、翌年度繰越消費支出超過額は1,900百万円となりました。

学校別収支の状況を見ると、大学は改組再編計画を実行中ではあるが、慢性的な大幅支出超過の状態が続いており、それが学園全体の財務状況を悪化させ、かつ、圧迫してい

ます。大学の改組再編計画を着実に履行し、赤字体質からの脱却に向けて全力を尽くさなければなりません。

また、短大及び高校においては、開学50周年を間近に控え、経年による校舎老朽化対策に積極的に取り組まなければなりません。

私学を取り巻く環境は、少子高齢社会の到来や大学全入時代を迎え、進学率が50%を超える大学・短大のユニバーサル化の状況となり、特に、地方の中小規模の大学はますます厳しさを増しており、本学園も例外ではありません。

地域社会に役立つ人材育成を目指す「地域に根ざした総合学園」として、どのような社会環境に置かれようとも、この学園の使命を果たさなければなりません。

貸借対照表

平成22年3月31日

（単位：百万円）

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	11,473	11,995	△522
有形固定資産	6,766	7,003	△237
その他の固定資産	4,707	4,992	△285
流動資産	1,079	1,484	△405
資産の部合計	12,552	13,479	△927
負債の部			
固定負債	808	856	△48
流動負債	756	1,220	△464
負債の部合計	1,564	2,076	△512
基本金の部			
基本金の部合計	12,888	12,350	538
消費収支差額の部			
消費収支差額の部合計	△1,900	△947	△953
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	12,552	13,479	△927

消費収支計算書内訳表

平成21年4月 1日から

平成22年3月31日まで

（単位：千円）

学 園 本 部 大 学 短 大 高 校 幼 稚 園 総 額							学 園 本 部 大 学 短 大 高 校 幼 稚 園 総 額							
消費収入の部	学生生徒等納付金	0	609,450	708,309	292,158	23,544	1,633,461	人件費	24,342	706,925	637,954	395,429	35,810	1,800,460
	授業料	0	322,276	348,480	135,984	17,731	824,471	教員人件費	0	513,398	395,033	305,726	35,584	1,249,741
	入学金	0	61,980	90,207	40,000	990	193,177	職員人件費	23,167	174,699	155,821	29,697	11	383,395
	実験実習料	0	21,319	46,742	0	0	68,061	役員報酬	780	0	0	0	0	780
	施設設備資金	0	145,625	153,230	63,117	1,581	363,553	退職金	350	18,828	62,128	60,006	0	141,312
	その他の納付金	0	58,250	69,650	53,057	3,242	184,199	退職給与引当金繰入額	45	0	24,972	0	215	25,232
	手数料	0	12,084	15,278	6,515	30	33,907	教育研究経費	0	379,474	242,626	215,188	19,496	856,784
	寄付金	0	2,104	3,192	2,045	738	8,079	管理経費	7,977	63,751	38,372	10,015	723	120,838
	補助金	0	152,574	138,123	216,710	17,709	526,116	借入金等利息	0	3,155	938	1,650	0	5,743
	資産運用	53,808	1,703	3,302	163	0	58,976	資産処分差額	1	636	5,010	93,995	0	99,642
	資産売却差額	0	0	189	0	0	189	消費支出の部合計	32,320	1,153,941	924,900	716,277	58,029	2,883,467
	事業収入	0	13,350	17,586	14,710	4,954	50,600	当年度消費収支支出超過額	△341,473	△364,938	△246,034	13,543	△14,825	△953,727
	雑収入	239	29,965	66,787	60,524	12	157,527	前年度繰越消費支出超過額	—	—	—	—	—	△946,585
	帰属収入合計	54,047	821,230	952,766	592,825	48,987	2,467,855	翌年度繰越消費支出超過額	—	—	—	—	—	△1,900,292
	基本金組入額	△363,200	△32,227	△273,900	136,995	△5,783	△538,115							
	第1号基本金	△363,129	△32,227	△223,900	136,995	△5,783	△488,044							
	第2号基本金	0	0	△50,000	0	0	△50,000							
	第3号基本金	△71	0	0	0	0	△71							
消費収入の部合計	△309,153	789,003	678,866	729,820	41,204	1,929,740								

富山国際大学

文部科学省の「平成22年度 大学生の就業力育成支援事業」に本学の取組が採択!!

文部科学省が今年度新規に募集した社会的・職業的自立に向けた指導等により学生の資質能力向上を図ることを目的とした「大学生の就業力育成支援事業」へ応募したところ、本学の取組テーマ「入学から卒業までの体系的な就業力育成教育」が採択されました。(申請件数 441 件中、選定件数 180 件)

主な取組は、正課内で就業への意識付けと基礎能力の育成を図りながら、演習型長期インターンシップも活用して実務・実学を重視した教育を実践し、さらに正課外における資格支援教育や、地域社会との連携を図るボランティア活動等を通して、学生の就業意欲の高揚を図るものです。

この取組によって、学生は、自身の教育活動記録等を自己のキャリアとして蓄積し、将来設計に役立てるとともに、就業する際の強みとしてアピールすることができます。また、外部評価員による就業力チェックが行われることから、地域に寄与する人材育成を目指す本学にとって、より一層地域との連携が図られることが期待されます。

創立20周年記念エクステンション・プログラム開設記念講演会を開催

創立 20 周年を記念し、「エクステンション・プログラム」を開講しました。開設するにあたり記念講演会として、平成 22 年 9 月 18 日(土)北日本新聞ホールにて、北川正恭早稲田大学大学院教授を講師にお迎えし、「楽しく学んで人生を有意義に過ごそう」をテーマに講演していただきました。この記念講演会には、約 200 名の方が参加され、「学び」の場を効果的に活用していく意義や活用方法について理解していただく機会となりました。

富山国際大学は、本学の持つ知的資源を社会に還元することを重要な使命としています。「エクステンション・プログラム」が、積極的な「学び」の一助として、市民の皆様をご支援できればと願っております。



富山短期大学

「ちょっと寄っていってみようルーム」開設

本年度、カウンセリングを利用するまでもないけど誰かに話したい、聞いてもらいたいという学生のために、気軽にソーシャルワーカーに相談できる場として新たに開設しました。

一人でも友人と一緒に来室でき、カウンセリングを受けることに抵抗感のある学生がちょっとした悩みや心配事を話すことによって、問題が深刻化するのを防ぎ、悩みの内容に応じてカウンセリング等へと導ける窓口になることを目指しています。

平成22年度栄養関係功労者厚生労働大臣賞を受賞

平成 22 年 9 月 9 日(木)全国栄養改善大会にて、食物栄養学科原田澄子教授が栄養士養成功労者として、また同学科稗苗智恵子講師が栄養指導業務功労者として表彰されました。

日本臨床中医薬学会学術大会開催

平成 22 年 9 月 4 日(土)、富山市において、第 10 回日本臨床中医薬学会学術大会が開催され、大会名誉会長を金岡祐一理事長が務め、大会長の木村郁子専攻科食物栄養専攻非常勤講師と事務局長の石塚盈代教授が運営に尽力し、成功のうちに大会を終えました。

富山国際大学附属高等学校

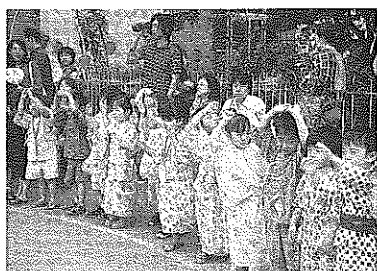
活みなぎる国際高

学校の 2 大行事といえば、体育大会と文化祭です。学内にはいつも生徒達の活気が漲っています。うれしいことに今年はもう一つの活気が漲っています。保護者の皆様です。体育大会(平成 22 年 6 月 15 日[火])では、保護者用テントをいつもより一張り増やして備えましたが、朝から超満員で、急遽もう一張り増やしました。文化祭(平成 22 年 9 月 10 日[金])の保護者関連イベントへの取組も例年になく活発で、参観者も激増しました。また、PTA の役員会の出席率も軒並み 90% 前後を維持する等、学校に対する保護者の関心が急速に高まっていることを窺い知ることができます。

生徒・保護者・教職員のエネルギーを一つのベクトルに収斂できるよう我々教職員にもさらなる努力が求められています。

富山短期大学附属みどり幼稚園

みんなと一緒に「みどり野こども祭り」!



平成 22 年 7 月 3 日(土)に、子どもたちが楽しみにしていた「みどり野こども祭り」が開催されました。この日は曇り空で、雨が落ちないかと心配されましたが、4 月からお祭りの準備をしていた保護者会の方々や子どもたち、地域の方々の熱い思いが伝わったのか、雨もすぐに通り過ぎました。

先生達の和太鼓や子どもたちの盆踊りでお祭りが始まり、祖父母の方々も目を細めて子どもたちの踊りを楽しみました。その後はお店が開店し、子どもたちは、遊びや工作のコーナーで空気鉄砲や「フライパンけん玉」作りに挑戦したり、かき氷のお店には長い列ができたりしました。先生のお店には、「木のキーホルダー」作りや木工を楽しむ小学生の姿も見られ、在園の子どもたちだけでなく、卒園生やその保護者の方も一緒に楽しい時間を過ごすことができました。最後には園長のギターに合わせて、「あの青い空のように」の歌を歌い、素敵な思い出をつくりました。

これからも、子どもたちが季節を感じ、文化にふれ、様々な出会いや経験を重ねていけるよう、多くの人との交流を深めていきたいと思っています。